

Shared Questionnaire System2.0の開発

調査1.0「Closedな調査」から、調査2.0「Openな調査」へ

開発者：久保 裕也(千葉商科大学 政策情報学部 専任講師)

➤これまでは、アドホックでワンオフな調査が多すぎたのだ。そこで、社会の中で、調査プロセスが共有され再利用されるためのソフトウェアを開発し、オープンソースで公開した。

➤**SourceEditor**: 調査票の論理的構造のXMLデータを、アウトライン形式でビジュアルに編集し、XSLT-FOでPDFに変換、マークシート形式の調査票印刷原稿と、SVG+XFormsによる読み取り集計用メタデータを出力。

➤**MarkReader**: P2Pグリッドで調査票画像を分散並列処理で読み取り。Ajaxで集計結果の検索・閲覧・修正・分析・図表作成。

➤実社会の広範なユーザからの支持を獲得。学校教育分野を中心にすでに利用者多数。

調査背景・仮説

XMLファイル
(XHTML/XForms)

計算機可読な
調査プロセス情報

アンケート設計ツール

SourceEditor

XSL-FO処理

印刷原稿PDF

アンケート
印刷原稿PDF
+
SVG Printによる
メタデータ

アンケート
回答用紙

調査票スキャン

印刷・配布
回答・回収

調査結果・情報公開

csv,xls形式ファイル

自由記述欄
画像ファイル

集計結果
表形式データ

マーク読み取りツール

MarkReader

画像フォルダ/
画像ファイル
印刷原稿PDF

P2Pグリッドで
分散並列処理

